



はじめの一步②

3月30日(金) ～ 3月31日(土)

IN 西宮市立甲山自然の家

	午前	午後	夜
1日目	自然遊び	名札作り 山菜摘み	レクリエーション大会
2日目	よもぎ団子作り	閉村式	

一日目： 少しずつ春めいてきたものの、まだまだ冷たい風の吹く中、元気いっぱいに参加者が集まりました。仁川にて開会式を行い、甲山自然公園に向かって歩きました。公園の入口からはグループごとにフィールドビンゴをしながら目的地まで向かいました。グループで話し合いながら自然をよく観察したり、道なき場所に分け入ったりしてビンゴを埋めていきました。目的地に全員到着し、ビンゴの結果発表をしました。どのグループも自然を沢山感じてきたのが結果から伺えました。その結果に応じて色々な種類のよもぎ団子レシピを貰いました。レシピはどれも簡単には読めない難解なものばかり。各グループ、全員の知恵を出し合いながら解説していました。その後、公園内にてお弁当を食べ、名札づくりを終えると、よもぎ団子づくりに向けてまずはよもぎ集めです。よもぎが沢山生えているポイントに移動して、袋いっぱいによもぎを集めました。グループ内で話し合いながら一生懸命集めたので、予定よりも早く沢山のよもぎが集まりました。余った時間を利用して、思い切り体を動かして遊ぶことにしました。みんな汗だくになりながら元気に走りまわりました。夕方に施設に入所し、夕食までしばらく時間があつたので、グループ対抗のレクリエーション大会をしました。どのグループもこの1日で結束力がとても強くなっていることが確認できました。夕食後はキャンプファイヤーの予定でしたが強風の為、参加者の安全を考慮し、中止としました。その代わりに、室内でダンスをしたりレクリエーションをしたりして、大いに盛り上がりました。



二日目： 起床後、まだ眠たそうにしていたのですが、着替えたり、シーツをたたんだり布団を片付けたりとやるのが沢山あったので、みなそれぞれ協力してスムーズに行うことができました。一日目よりも天候はさらに悪化しましたが、そんな雨にも負けず、よもぎ団子作りに必要な食材争奪戦ゲームをしました。炊事場に隠されたカードをグループのみんなで協力しながら探し出しました。一日目に一生懸命に集めたたくさんのよもぎを使って、グループごとに味や形、色など様々なよもぎ団子を作りました。最後の片付けもグループごとできちんと協力しながらできていました。昼食後、デザートに食べる子やお土産に持って帰る子など自分たちの手で作ったヨモギ団子を誇らしげにしていました。帰りは大雨の中、ひたすら歩いて帰りましたが、みんなの表情は疲れよりも達成感で満ち溢れていました。



＜キャンプ総括＞

今回のキャンプは「よもぎ団子づくり」がメインでしたが、その過程の中で、自然に対してより意識を向けられる活動を行いました。そこで気づいたことは、子どもたちは「発見」の天才だということです。何かを「発見」しようとする時の子どもの意欲や集中力には目を見張るものがあり、私たち大人には想像もつかないことを「発見」します。そんな子どもたちの「発見」を全員で共有することで、喜びや楽しみが生まれ、更に感心が深まって次の活動がより深いものになっていくのだと思います。私たちはこれからも、そんな「発見」のきっかけを少しでも多く与えていけるような活動を展開していきたいです。(五十嵐 千尋)

今回のキャンプでは「春をみつけよう」を目的として、様々な“春”を感じられるようなプログラムの中で活動しました。施設に向かっている最中でのフィールドビンゴやよもぎ団子作りではもちろんのこと、プログラム以外の中でも子どもたちは上手に“春”を見つけることができていたと思います。天候にはあまり恵まれませんでした。が、何よりも自分自身が「楽しむぞ!」という気持ちさえ忘れなければ、そんなことは気にならず、むしろ雨の中でも子どもたちは思い思いに楽しんでいました。その時折の季節や天気によって、自然は様々な顔を見せてくれます。その顔に合わせるかのようにして、子どもたちの様子や表情も変わっていきます。自然体験活動の中で見せてくれる子どもたちの表情をもっと豊かなものにしていけるようなきっかけを少しでも与えていきたいです。(齋藤 仁)